

認知症症状のある患者さんに対する 身体拘束実施に関する調査のお知らせ

認知症症状のある患者様は、入院生活による環境の変化や体の症状により混乱が起こりやすくなっています。そのような場合には治療の継続や患者様の安全を守るためにやむを得ず身体拘束を行うことがあります。しかし、身体拘束は患者様にとって大きなストレスとなり、さらなる混乱を起こしたり、生活に影響を及ぼすこともあります。今回、認知症ケアチームが関わった患者様の身体拘束実施について実態調査を行う事になりました。この調査を通じて、当院での身体拘束実施が必要最小限となるよう検討していきたいと思っております。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院において2018年4月から2018年10月の間に入院した患者さんを対象としています。調査対象期間内に入院した患者さんの診療録から、身体拘束実施の状態などについて情報を得て、統計学的に解析を行い、身体拘束実施が必要最小限となるための課題を検討します。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。

【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐため、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしております。また、本研究の結果の公表（学会や論文等）の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院
看護師 吉里美貴
〒802-8555
北九州市小倉北区浅野三丁目2番1号
電話 093-511-2000（代）

